

中間評価結果（平成19、20年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
20-2	ITを活用した合理的な事業マネジメントシステムに関する研究開発	東京大学 特任教授 石川 雄章	B
<p>< 研究の概要 ></p> <p>道路資産の老朽化に伴い維持管理がますます重要な課題となる中、限られた人員の中で、多様化する利用者ニーズへの対応や工事施工や維持管理業務の円滑な実施・管理が求められている。このため、以下の方法を用いて、ITを活用した合理的な事業マネジメントシステムの確立を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) EA（エンタープライズ・アーキテクチャ）による道路行政の業務・システムの分析 2) 重要情報データベースと履歴情報アーカイブの設計 3) 「ITを活用した履歴管理と現場業務の省力化の実験（別途実施）」の成果の反映 4) 段階的な改善方策の検討及びとりまとめ <p>< 研究継続の妥当性評価 ></p> <p>研究の進捗状況、見通しともに概ね良好である。なお、現場での適用性や個々の研究成果の総合化を図るなど、指摘事項に留意しながら、現行のとおり研究を推進することが妥当である。</p> <p>< 特記事項（今後の研究に対する意見・指摘事項等） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑多でアドホックに作られてきた作業体系を合理的に再構成するという重要な研究テーマが概ね順調に進められている。 ・ システムの善し悪しを評価する基準を明確に確立し、研究開発を実施していただきたい。また、開発された合理的な事業マネジメントシステムと「社会・民間ニーズ」との間にトレードオフが無いことを確認されたい。 ・ 開発システムによる改善効果がどの程度あるのかを示す必要があり、例えば、核となる成果について一種のB/Cを行えば、その効果が明確になると思われる。また、業務改善効果の定量的な評価法の開発自体も研究対象と考えられ、この面の展開も期待したい。 ・ 今後出てくる現場事務所での検証結果を踏まえ、研究目的が十分に達成できるように、今後の進め方等を検討していただきたい。 			